

2009年度

科目名	薬物治療学B				
担当教員	田中 静吾				
配当	薬科3			コード	21440
開期	後期	講時	火曜日1限	単位数	2
授業テーマ	【必修】 疾患と薬物治療				
目的と概要	各種疾患の症状や検査所見を含めた病態生理について概説し、治療法について説明する。授業を通じて「将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、内分泌系の疾患、代謝性疾患、神経・筋疾患、精神疾患およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。」ことを一般目標とする。 (日本薬学会モデルコアカリキュラム C14(3)(4)「疾患と薬物治療」に対応、一部 A(1)「生と死」、A(2)「医療の担い手としてのこころ構え」に対応)				
成績評価法	期末試験およびその他(平常点など)により総合的に評価する。				
テキスト	スタンダード薬学シリーズ6 薬と疾病II 薬物治療(1)日本薬学会編 東京化学同人				
参考書					
履修に当たっての注意・助言	補助教員:竹橋正則				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	概論	1. 代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療の位置づけを説明できる。 2. 予防、治療、延命、QOL について説明できる。 3. 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。 4. インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。	C14(2) A(1) A(2) A(2)	知識 知識 知識 知識
2	講義	内分泌系疾患I	1. ホルモンの産生臓器別に代表的な疾患を挙げることができる。 2. 下垂体前葉ホルモンの欠落および過剰分泌による症状と検査所見について説明できる。	C14(3) 独自	知識 知識
3	講義	内分泌系疾患II	1. 尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 2. 甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 3. 上皮小体(副甲状腺)機能異常症の病態について概説できる。 4. カルシウム代謝異常の病態生理について説明できる。	C14(3) C14(3) C14(3) 独自	知識 知識 知識 知識
4	講義	内分泌系疾患III	1. クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 2. 以下の疾患について概説できる。 アジソン病、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫	C14(3) C14(3)	知識 知識
5	講義	代謝性疾患I	1. 糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 2. 低血糖の病態生理と治療法について説明できる。	C14(3) 独自	知識 知識
6	講義	代謝性疾患II	1. 高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 2. メタボリック症候群の病態生理について説明できる。	C14(3) 独自	知識 知識
7	講義	代謝性疾患III	1. 高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 2. ビタミン欠乏症について概説できる。	C14(3) 独自	知識 知識
8	講義	神経・筋の疾患I	1. 神経・筋に関する代表的な疾患を挙げることができる。 2. 神経疾患を原因から分類することができる。 3. 神経学的診察と症候からの局所診断について説明できる。	C14(3) 独自 独自	知識 知識 知識

9	講義	神経・筋の疾患II	1. 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
			2. 脳卒中の急性期治療について説明できる。	独自	知識
			3. てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
10	講義	神経・筋の疾患III	1. パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
			2. アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
			3. 認知症の原因疾患を列挙し概説できる。	独自	知識
11	講義	神経・筋の疾患IV	1. 筋萎縮性側索硬化症と筋ジストロフィの違いを説明できる。	独自	知識
			2. 以下の疾患について概説できる。 重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管認知症	C14(3)	知識
12	講義	精神疾患I	1. 代表的な精神疾患を挙げることができる。	C14(4)	知識
			2. 統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(4)	知識
12	講義	精神疾患II	1. うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(4)	知識
			2. パニック障害、外傷後ストレス障害の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	独自	知識
			3. 神経食慾不振症、不眠症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	独自	知識
14	講義	精神疾患III	1. 以下の疾患を概説できる。 神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症	C14(4)	知識
			2. 小児期の精神障害について概説できる。	独自	知識
15	演習	総括とまとめ	1. 内分泌・代謝性疾患、神経疾患について、病態と薬物治療について理解している。	C14(3)	知識
			2. 精神疾患について、病態と薬物治療について理解している。	C14(4)	知識
授業方法					
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C14(3) 、 C14(4) 、 A(1)、 A(2)	講義または演習	講義室	1(1)	スライド、配布資料	90分 x 15回